

1.16

PDA 関西高等学校即興型英語ディベート交流大会 2021

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2021年8月21日(土) 13:00-17:00

会場：オンライン(本部：大阪府立北野高等学校)

参加校：6校(堀川高校、奈良高校、神戸高校、彦根東高校、膳所高校、北野高校)

参加者：生徒37名、教員10名

スタッフ：国際教養大学、PDA認定教育ジャッジ・九州大学、PDA認定教育ジャッジ、PDAスタッフ

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)

助成：駐大阪・神戸アメリカ総領事館、公益財団法人



開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)代表理事中川智皓より、「交流を楽しみながら頑張ってください。」とエールが送られました。次に、今回助成をいただいている駐大阪・神戸アメリカ総領事館のアリシア・エドワーズ領事様より、激励のメッセージとアメリカ留学に関する紹介をしていただきました。エキシビジョンディベータに選ばれた6名へTOEFLの受験料が進呈される旨についてもご説明いただきました。次に、大阪府立北野高校の天野校長先生より「英語で表現するいい機会になると思います。頑張ってください。」と英語でご挨拶いただきました。次に奈良県立奈良高校の中野校長先生より、「東京オリンピックでも掲げられた多様性と調和の実現の第一歩にしてください。」とご挨拶いただきました。その後、参加した6校の学校紹介やPOI(Point of Information)の練習を行いました。



PDA 代表理事 中川智皓より挨拶



アリシア・エドワーズ領事様よりご挨拶

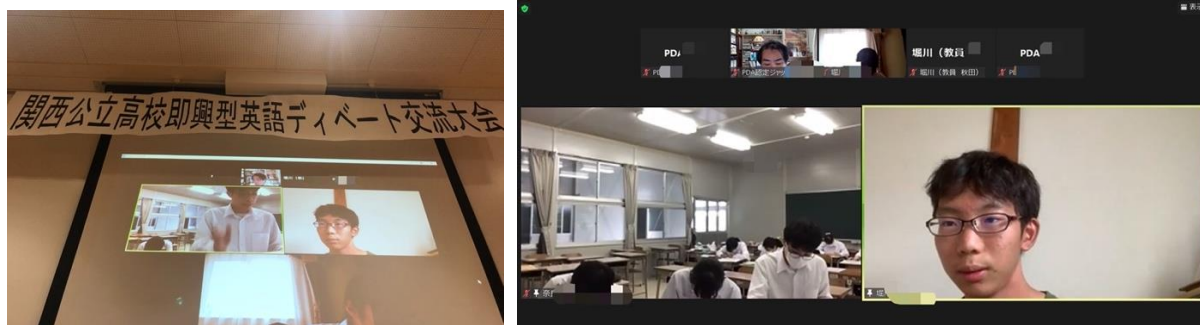


北野高校 天野校長先生よりご挨拶



奈良高校 中野校長先生よりご挨拶

第1ラウンドのお題は「*We should outsource coaching of club activities.*(部活動の指導を外注すべきである。)」でした。コーチは勉強のことを配慮してくれるのか、責任の所在はどうなるのか、先生の負担は減るのか、むしろ増えるのかなど様々な観点から議論が行われました。ディベートが終わり、ジャッジのフィードバックが始まるまでの時間に何年生か、英語の勉強をどのようにしているのかなどのお話で盛り上がりました。ジャッジによるフィードバックでは、主張を強化するためにどのように根拠を説明すれば良いかなど具体的にコメントが行われました。

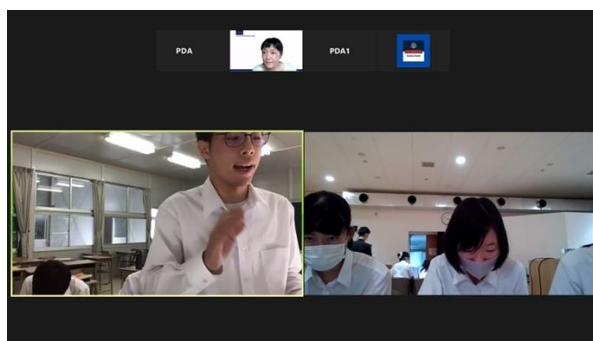


奈良高校 A vs 堀川高校

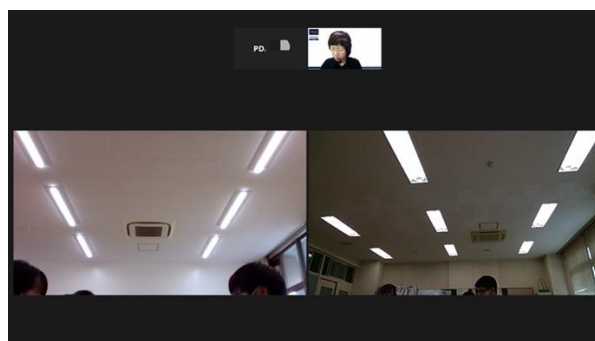


北野高校 B vs 膳所高校 B

続く第2ラウンドのお題は、「*Accepting immigrants does more good than harm.*(移民の受け入れは害よりも利益をもたらす。)」でした。労働力という観点から、受け入れ国にとってメリットがあるのか、それとも受け入れ国の雇用を奪ってしまい逆効果なのかについて議論したり、文化や多様性という観点から議論したりしました。ディベートが終わると、「今日は何時間勉強した?」「交流大会に参加した経緯は?」など、交流を深めました。



奈良高校 A vs 北野高校 A



膳所高校 B vs 神戸高校 B



彦根東高校 vs 堀川高校



ディベート後の交流

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*Online learning should be introduced in high schools, and students should go to school only three days a week.* (高校では、オンライン学習を導入し、登校日を週3日にすべきである。)」でした。対面とオンライン学習の特徴を深く分析し、オンライン学種導入の是非について活発に意見を交わしました。白熱したディベートとなりましたが、観戦していた生徒の投票により、僅差で **Opposition**(否定側)の勝ちとなりました。



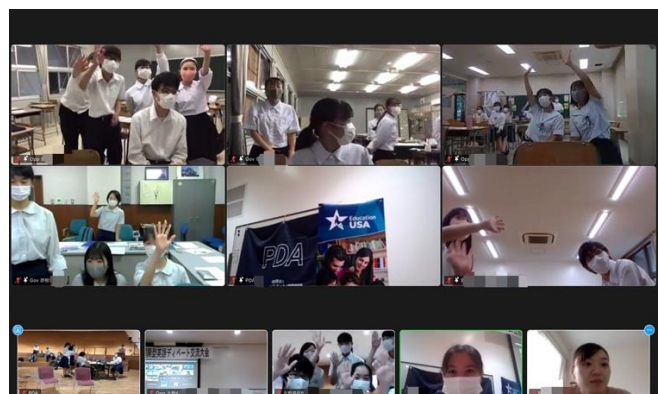
堂々とスピーチ



エアー握手①



エアー握手②



挙手による投票

閉会式では、兵庫県立神戸高校の長澤教頭先生より、「論理的な思考力やプレゼンテーション能力、表現力などを高めることができる素晴らしい大会になったのではないかと思います。これからもこの力を伸ばし続けるよう頑張ってください。」とご講評いただきました。次に滋賀県立膳所高校の富江校長先生より、「他の高校の人と知的でエキサイティングなコミュニケーションが取れたということがとても素晴らしいと思います。」とご講評いただき、関西交流大会の幕を閉じました。



神戸高校 長澤教頭先生よりご講評



膳所高校 富江校長先生よりご講評

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・PM _____さん (奈良高校)
- ・LO _____さん (北野高校)
- ・MG _____さん (彦根東高校)
- ・MO _____さん (奈良高校)
- ・LOR _____さん (神戸高校)
- ・PMR _____さん (膳所高校)

〈チーム賞〉

- ・ 1位 奈良高校 A
- ・ 2位 神戸高校 A
- ・ 3位 奈良高校 B
- ・ 4位 北野高校 B
- ・ 5位 北野高校 A



1位 奈良高校 A



2位 神戸高校 A



3位 奈良高校 B



4位 北野高校 B



5位 北野高校 A

〈ベストディベーター賞〉 ※★は2回選出

- _____さん (神戸 A) ★
- _____さん (彦根東) ★
- _____さん (奈良 B) ★
- _____さん (堀川)
- _____さん (神戸 B)
- _____さん (膳所 A)
- _____さん (膳所 B)
- _____さん (膳所 B)
- _____さん (北野 A)
- _____さん (北野 A)
- _____さん (北野 B)
- _____さん (奈良 A)
- _____さん (奈良 A)
- _____さん (奈良 B)

〈POI 賞〉 ※★は2回選出

- _____さん (奈良 A) ★
- _____さん (膳所 B)
- _____さん (北野 A)

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・たった 15 分間の準備時間で焦りつついいディベートをしなきゃというプレッシャーもありましたが、自分の英語力の向上にも繋がり、とても楽しかったです。（神戸高校）
- ・緊張もしましたが良い体験になったと思いました。チームでの即興ディベートは個人の能力だけでなくチームワークが必要だと思いました。（神戸高校）
- ・参加するか迷ったけど参加してよかったなとおもいました！英語でかつ即興でレベル高いなと思いました！もっとスラスラアドリブで言えるようになりたいです！（神戸高校）
- ・オンライン授業など、タイムリーな論題で面白かった。（北野高校）
- ・前回よりけっこう喋れたと思うし、頭も回ったので楽しかった。でも、POI はしてもいいのか、と迷ったり思いつかなかったりして全然できなかったのが次は勇気を出してやってみたい。（膳所高校）
- ・張り詰めた緊張感のなかで意見を述べている自分に成長を感じた。（膳所高校）
- ・お題に対するさまざまな意見が知れて面白かった。（堀川高校）
- ・他校の方とディベートすることはなかなかできることでは無いですし、英語部のみんなで考えて戦えるのはとても楽しかったです。（膳所高校）
- ・時間のないなか、意見を論理的にまとめ、それを英語で述べることの難しさをあらためて感じた。今後の成長につなげていきたい。（膳所高校）
- ・とてもおもしろくてまたやりたいと思った。（北野高校）
- ・ジャッジの先生のしてくださったアドバイスから、自分の改善点がたくさん見えてとても楽しかったです。（北野高校）
- ・高いレベルの中で、深く考え、英語で 〆なんとか意見を伝えようと試行錯誤するのが楽しく、なかなかない機会だと思った。（北野高校）
- ・他府県のトップ校の人達と関わるという滅多にできない体験をでき、本当に楽しかったからです。ディベート後に他の高校の人達とお話できたのもとても興味深かったです。（北野高校）
- ・とても緊張しましたが、チームワークの大切に楽しんでディベートをできたので、良い思い出になりました。（奈良高校）
- ・授業では中々体験できないことだと思うし、同級生や他校の方が活躍されている姿を見て、大きな刺激になった。（奈良高校）
- ・他校の方々との交流ができて良い体験になったし、知らなかった英単語に出会ったことで、自分の英語力の低さに気づき、もっと知りたいと思いました。（彦根東）
- ・他府県の方々と交流が出来たからです。あまりこのような機会が無いので、参加できて良かったです。（彦根東）
- ・興味深い意見のやりとりを聞くことができました。そして、何より、ジャッジの先生の丁寧なコメントが、生徒の更なるやる気を引き出してくださいました。生徒達の頭脳戦。見応えがありました。（教員）
- ・大変貴重な機会となりました。（教員）



大会本部：北野高校